

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	加藤 憲孝	学校名	愛知県東郷町立東郷小学校
実施学年	第2学年	教科	算数
単元名	かけ算(2)		

«学びを深めたいポイント»

文章問題を解く際、自分の考えを図に表して解くことはとても重要である。

算数科の学習では、答えを出す多数の方法がある。そこで、本時で学びを深めたいポイントとして以下の点をあげる。

- ① 文章問題の解き方は1通りではなく何通りもあることを知る。
- ② 自分の考えを図を使って相手に分かりやすく表現する。

以上2点の学びを深めるため、SKYMENU を使用した授業を実践した。

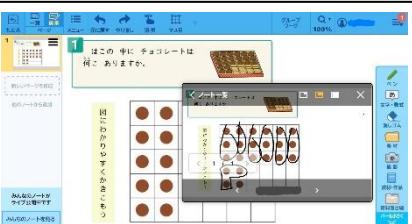
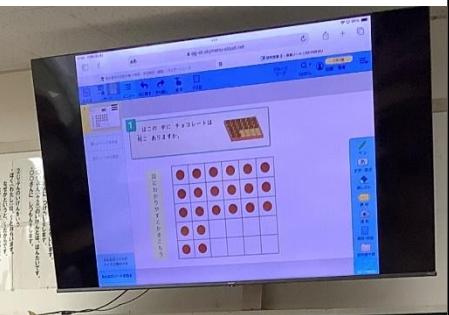
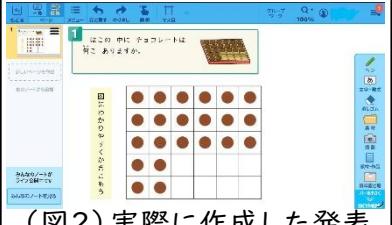
«SKYMENU 活用のポイント»

上記の2点の学びを深めるため、SKYMENU の発表ノートにあるライブ機能を活用すれば、学びを深めるために有効であると考える。理由は以下の通りである。

- ①ライブ機能はいつでもクラスの子の発表ノートを見ることができるので、解き方が何通りもあることを視覚的にとらえることができる。
- ②同じ式になっても、図での表し方は人それぞれ違うことを知ることができます。また、他の子の図を見て、より分かりやすい表現方法を知ることができる。
- ③支援を必要とする児童でも、他の子の図を見て、自分の考えを再構築できる。

«実践内容»

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	I 九九の復習をする。 ○ 九九の段を3回唱え、唱え終わったら着席させる。		

展開	<p>2 図や式を使って問題を解く。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 発表ノートを使って、自分の考えを図に表し、立式して答えを求める。 ○ 教科書(啓林館)P36①の問題を読む。 ○ 問題と図が書かれたものを配付し(発表ノート)、それに書き込ませる(図3)。  <p>(図3)児童が発表ノートに直接書き込んでいる様子</p> <p>○ 解き始めた5分後に、ライブ公開機能にあるみんなのノートを見てよいことを伝える(図5)。</p>  <p>(図5)ライブ公開機能を使用して友達の画面を表示した場合の画面</p> <p>(2)全体で考えを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 同じ立式になっているが、図での表し方が違う児童を意図的に指名する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師が作成した発表ノートをモニターに投影し、問題と図についての説明をする(図1)。  <p>(図1)発表ノートをモニターに投影している様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発表ノートを開かせる。 ○ 教師が作成した発表ノートを配付する。 ○ 配付する際、ライブ公開提出箱を作成する(図4)。  <p>(図4)ライブ公開提出箱の中の様子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に発表ノートに問題と図を貼ったものを作成しておく(図2)。  <p>(図2)実際に作成した発表ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 問題と図は児童が動かせないように背景化しておく。 ○ ライブ公開機能を使用することにより、解き方は何通りもあることを視覚的にとらえさせる。 ○ ライブ公開機能を使用し、考えを共有する。 ○ 問題が解けない児童には、みんなのノート(ライブ公開機能)を見させ、どの解き方が自分で立式できるかを考えさせる。 ○ 同じ式になる場合も、図の表し方は何通りもあることを知らせるため、画面一覧機能を使用してモニターに投影し、視覚化する。 ○ 画面一覧機能を使用することにより、同じ式になってしまって図での表し方が違う場合があることを視覚的にとらえさせる。
まとめ	<p>3 次時の予告をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次時の学習では、類題を解くことを伝える。 		

《実践を振り返って》

普段から SKYMENU を学級で使用しているので 2 年生でも上手に使用することができている。今回ライブ公開機能を使用した授業を初めて行った。行った経緯としては、様々な解答方法がある問題で、ライブ公開機能を使用すれば、多くの解答方法を知ることができ、自分の考えが多くなると考えたからである。ライブ公開機能を使用して友達の意見を見てもよい活動になったとき、児童からは「○○さんの考えすごい分かりやすい」「△△さんの考えは思いつかなかった」などの声を多く聞くことができた。このことから多くの児童が様々な解答を知ることができたと思われる。実際に次時での類似問題に取り組んだ際には、本時と解き方を変えて答えた児童が多くいた。また、なかなか自分の考えが思いつかず、図に書き込むことのできない児童も、本時でライブ公開機能を使用して様々な解答に触れさせることにより、次時の授業では、図に書き込んで答えることができるようになっていた。

本実践を通してライブ公開機能を使用する良さは以下の通りであると考える。

- ① 様々な解き方、方法を学級全体で共有するときに有効活用できる。
- ② 支援を必要とする児童に対してライブ公開機能を使用することにより、自分の考えをもつきっかけ作りができる。

以上の 2 点である。今回初めてライブ公開機能を使用した。その後、他の教科でもライブ公開機能を使用して授業を行ったが、友達のよい意見や方法を見て自分の考えに付け加えている児童も多くいた。

今後も積極的にライブ公開機能を使用していきたい。